

1 園目標

心身ともにしなやかで健康なこども ありのままの自分を表現できるこども 豊かな感性を持ち、意欲的なこども 思いやりをもち、仲間を大切にすることも
--

2 今年度の主な取り組み内容

	重点的な取組状況
保育	「身体づくり」を年間の保育の柱に置き、各年齢で発達に合わせて楽しく身体を使うことを意識してきました。年間を通して散歩やリズムあそびなどにとりくんできました。
職員	園内研修を計画し職員で学びあいました。研修で学んできたことを報告しあい、保育に活かしていくようにしました。
保護者	園での様子をおたよりや送迎時などにわかりやすく伝えるようにしました。クラス懇談会では子どもたちの姿を共有し、悩みなどの交流をしました。また、クラス懇談会ができなかった時は、各クラス紙面で悩みなどを交流し子どもたちの様子を共有できるようにしました。
園全体	コロナ禍での保育で大切にしたいことを確認しあったり、行事の内容や見直しを行いました。できないことを考えるのではなく何ができるのかを考え、こどもたちが楽しくいきいきと園生活が送れるようにとりくみを考えてきました。
一時預かり	たくさんの問い合わせがありましたが、コロナ禍では就労枠のみ実施することになりました。同じ年齢の子どもと少し関わりながら楽しく過ごせるようにしてきました。

3 今後の取り組み

重点的な取組	内容
保育	生活やあそびの中で楽しく身体を使っていくことを意識的にいき、年齢や発達に見合ったとりくみをしていきます。
職員	園内学習を計画し、みんなで学びあいます。保育の振り返りを大切に、子どもたちの姿からとりくみや手立てを話し合い考えます。
保護者	園でのようすをわかりやすく丁寧に伝えていき、家庭と連携しながら一緒にこどもの成長を喜び合える関係を築いていきます。
園全体	新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの保育の検討を行います。また、関係機関とも連携をしていきます。話し合うことを大切に、一人ひとりのこどもの成長を園全体で見守り考えていきます。